

**フロー状態 燃える集団」**

偶然は無、必然だ！と言葉もあります、最近そう感じる事があります。  
何か、すべて繋がっている！…そんな気がしています。

先日、顧問先の社長さんからいろいろ相談を受けていて、私自身も大きく感じる事がありました。  
現在の状況は…なにか疲れている！

一生懸命頑張っている、努力しているんだが、どこか疲弊感がある。  
それぞれが努力、頑張っているんだが、成果が出ていない。  
何が原因だろう？

そこで良かった時と 現在を比べたらどうだろうか？

良かった時は思い返すと元気があった」「やる気が満ちていた」「 が大好きだと言えた」  
一体感があった。

そんなキーワードが出てきました。

そんな時、先日も焼津にて幹部研修している時の話で、子どもの小学校での卒業式の話になり  
合唱が6曲もあり ダンスが定番になっており 生徒たちは感動で泣き崩れている！びっくりしたと  
人気のAKB もエグザイルも、あの一体感のダンスパフォーマンスの一生懸命さを感じる。

新年度からは小学校ではダンスが必須授業に取り入れられること。

20代の若者たちはK ポップやAKB などのダンスを全員で踊って、盛り上がる世代。  
私たちおじさん世代 (50代)とは、まったく異なる価値観。

では、経営に置き換えるとどうということなのか？

「元気」「やる気」「楽しそう」「好き」……「一生懸命」「本気」「一体感」  
その働いているスタッフたちの「気」がお客さんに伝わるんだ！  
そんな次代なんだな！と考えていました。

すると、同じような話が顧問先の社長さんやフェイスブックなどから次から次につながってきます。

そして、偶然にも図書館で借りてきた本『いのちと気』天外司朗氏と矢山利彦氏の対話でも同じような  
ことが書かれています。

第4章では、人間は「気」でわかる。

第5章では、次代を切り開く「フロー人間」

ここには「気」の重要性を書いています。まだ科学では解明されていない「気」が脳と言語と無意識で  
つながっている。

フロー状態、燃える集団になるとそれが少しずつ上がっていく。

燃える集団というのは、古い脳(脳幹)が極端に活性化した状態。

そうしたフロー状態が重要な訳です。決め手は脳幹の活性化。すると病気も治る。

**<コメント>**

**「気」の重要性。この疲弊している時代だからこそ、「気」が満ちている場所に人は集まるんだ。  
「気」を放散する側か？それとも奪い取る側か？そこにビジネスのヒントがあるような気がします。  
皆さんは、いかが感じておられますか？ あなたは「気」を出す側ですか？それとも…？**